

<様式2>

畜産試験場試験・研究課題事前評価表

畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名： 畜産物の品質改善

小課題名： ブドウ粕を利用した高品質鶏肉生産技術の開発

細目課題名：

担当者名： 松下 浩一

評価項目	評価点	指摘事項
1 課題設定の必要性 (背景、社会的ニーズ)	5 / 5	県産鶏肉の普及促進のための差別化要素の開発が必要。特に山梨と結びついた特徴開発のニーズは大きいと評価。
2 課題の新規性、独創性	4 / 5	従来のブドウの搾り粕や皮粕と異なり、新開発された粉体のブドウ粕を活用する点で新規性、独自性があると評価。
3 目的・内容の整合性、妥当性	5 / 5	肉の保存性改善を目的にブドウ粕成分の抗酸化作用から検討する内容で整合性があり、研究内容も妥当。
4 研究手法の的確性、技術的可能性	5 / 5	研究手法には特に問題はなく、的確と評価。
5 成果の期待度	5 / 5	ブドウ粕という山梨と結びついた差別化要素を活かす開発試験であり、期待度は高い
総合評価	5 / 5	ブドウ粕という山梨と結びついた要素を活かすための開発試験であり、社会的ニーズ、成果の期待度とも高い。研究内容も妥当であり、研究として重要と評価。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

山梨独自の鶏肉生産のために、ブドウ粕の特徴を最大限に生かし、優れた肉質をもつ鶏肉生産と飼料給与体系について検討を加えていきます。

<様式2>

畜産試験場試験・研究課題事前評価表

畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名： 豚の飼養管理技術の改善

小課題名： 高品質な豚肉を目指した飼料の開発

細目課題名：

担当者名： 菊嶋 敬子

評価項目	評価点	指摘事項
1 課題設定の必要性 (背景、社会的ニーズ)	5 / 5	県産豚肉のブランド強化には差別化要素の開発が必要。特に山梨と結びついた特徴の開発に対するニーズは大きい。
2 課題の新規性、独創性	4 / 5	従来のブドウの搾り粕や皮粕と異なり、新規開発された粉体のブドウ粕を活用する点で新規性、独自性があると評価。
3 目的・内容の整合性、 妥当性	5 / 5	山梨と結びついた特徴開発に、ブドウ粕と茶葉粕を対象にしており、研究内容は妥当と評価。
4 研究手法の的確性、 技術的可能性	4 / 5	検討対象が多いので未利用資源を中心に試験区の検討が必要。また試験飼料は現場での活用を考慮して検討。
5 成果の期待度	5 / 5	ブドウ粕、茶葉粕という山梨と結びついた差別化要素を活かす開発試験であり、期待度は高い。
総合評価	5 / 5	研究手法はさらに検討する必要があるが、ブドウ粕などの山梨と結びついた要素を活かすための開発試験であり、社会的ニーズ、成果の期待度とも高いことから、研究として重要と評価。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

山梨と結びついた特徴を持った豚肉による差別化を図るため、試験区等の研究手法の再検討を実施した上で、平成22年度からの課題に取り組みます。